

# 鳥インフルエンザ関係府省庁連絡会議

日 時：令和3年2月4日（木）

議 題：千葉県匝瑳市における家きんにおける高病原性鳥  
インフルエンザの発生への対応について

令和2年11月5日

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

# 関係府省庁連絡会議(局長級)資料

**農林水産省**

令和3年2月4日

1	高病原性鳥インフルエンザの発生事例について	・・・	1
2	総理指示	・・・	24
3	対応方針	・・・	25
4	防疫措置状況	・・・	28
5	輸出への影響	・・・	35
	【参考】 高病原性鳥インフルエンザとは	・・・	36
	【参考】 世界における鳥インフルエンザの発生状況	・・・	37
	【参考】 国内における 高病原性鳥インフルエンザ発生状況	・・・	38

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について①

## (1)国内1例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約31.7万羽

②周辺農場 : 3km圏内 26戸・189万羽 、 3km-10km圏内 89戸・273万羽 、 合計 115戸・462万羽

③発生経緯

・11月4日(水)、約2千羽の鶏が死亡したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日18時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、5日(木)6時00分に疑似患畜と確定。

## (2)国内2例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県東かがわ市の養鶏場(採卵鶏)、約4.6万羽

②周辺農場 : 3km圏内 3戸・16万羽 、 3km-10km圏内 9戸・51万羽 、 合計 12戸・67万羽

③発生経緯

・11月7日(土)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時30分、簡易検査陽性と判明。

・動物衛生研究部門がPCR検査を実施し、国による確認の結果、8日(日)9時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②

## (3)国内3例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用種鶏)、約1.1万羽

②周辺農場 : 3km圏内 31戸・141万羽 、 3km-10km圏内 75戸・292万羽 、 合計 106戸・433万羽

③発生経緯

・11月10日(火)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日16時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、11日(水)4時00分に疑似患畜と確定。

## (4)国内4例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用種鶏)、約1.0万羽

②周辺農場 : 3km圏内 20戸・134万羽 、 3km-10km圏内 92戸・294万羽 、 合計 112戸・428万羽

③発生経緯

・11月12日(木)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、13日(金)3時40分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について③

## (5) 国内5例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約7.7万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 18戸・161万羽 、 3km-10km圏内 96戸・286万羽 、 合計 114戸・447万羽
- ③発生経緯
  - ・11月14日(土)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、15日(日)3時00分に疑似患畜と確定。

## (6) 国内6例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約15.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 20戸・110万羽 、 3km-10km圏内 92戸・270万羽 、 合計 112戸・380万羽
- ③発生経緯
  - ・11月19日(木)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日15時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、20日(金)4時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内6例目疫学関連農場の概要

・人、車両を介してウイルスに汚染された可能性がある6例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、疫学関連が確認された以下の4農場の飼養鶏についても、家きん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約11.7万羽
- ②場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約2.0万羽
- ③場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用鶏)、約5.7万羽
- ④場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用鶏)、約1.7万羽

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について④

## (7)国内7例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約43.9万羽

②周辺農場 : 3km圏内 20戸・110万羽 、 3km-10km圏内 92戸・270万羽 、 合計 112戸・380万羽

③発生経緯

・11月19日(木)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日15時30分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、20日(金)4時00分に疑似患畜と確定。

## (8)国内8例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約7.5万羽

②周辺農場 : 3km圏内 8戸・75万羽 、 3km-10km圏内 101戸・268万羽 、 合計 109戸・343万羽

③発生経緯

・11月20日(金)、養鶏場で元気消失した家きんが増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日21時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、21日(土)11時00分に疑似患畜と確定。



# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑤

## (9)国内9例目の概要

①場所・飼養規模 : 福岡県宗像市(むなかたし)の養鶏場(肉用鶏)、約9.4万羽

②周辺農場 : 3km圏内 1戸・1.7万羽 、 3km-10km圏内 5戸・11.2万羽 、 合計 6戸・12.9万羽

③発生経緯

・11月24日(火)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、福岡県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時30分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、25日(水)4時00分に疑似患畜と確定。

## (10)国内10例目の概要

①場所・飼養規模 : 兵庫県淡路市の養鶏場(採卵鶏)、約14.6万羽

②周辺農場 : 3km圏内 0戸・0万羽 、 3km-10km圏内 7戸・1.0万羽 、 合計 7戸・1.0万羽

③発生経緯

・11月25日(水)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、兵庫県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、25日(水)22時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑥

## (11)国内11例目の概要

①場所・飼養規模 : 宮崎県日向市(ひゅうがし)の養鶏場(肉用鶏)、約4.0万羽

②周辺農場 : 3km圏内 0戸・0万羽 、 3km-10km圏内 16戸・78.2万羽 、 合計 16戸・78.2万羽

③発生経緯

・11月30日(月)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日18時45分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月1日(火)4時30分に疑似患畜と確定。**

## (12)国内12例目の概要

①場所・飼養規模 : 宮崎県都農町(つのちょう)の養鶏場(肉用鶏)、約3.0万羽

②周辺農場 : 3km圏内 26戸・103万羽 、 3km-10km圏内 138戸・568万羽 、 合計 164戸・671万羽

③発生経緯

・12月1日(火)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日16時10分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月2日(水)0時30分に疑似患畜と確定。**

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑦

## (13)国内13例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約22.8万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 9戸・57.1万羽 、 3km-10km圏内 97戸・287万羽 、 合計 106戸・344万羽
- ③発生経緯
  - ・12月1日(火)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日13時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月2日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内13例目疫学関連農場の概要

・13例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、疫学関連が確認された以下の1農場の飼養鶏についても、家きん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約12.5万羽

## (14)国内14例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵鶏)、約2万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 9戸・57.1万羽 、 3km-10km圏内 97戸・287万羽 、 合計 106戸・344万羽
- ③発生経緯
  - ・12月1日(火)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日12時40分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月2日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑧

## (15)国内15例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県都城市(みやこのじょうし)の養鶏場(肉用鶏)、約3.6万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 12戸・55.9万羽 、 3km-10km圏内 81戸・301万羽 、 合計 93戸・357万羽

### ③発生経緯

- ・12月2日(水)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、2日15時30分、簡易検査陽性と判明。
- ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月3日(木)0時30分に疑似患畜と確定。

## (16)国内16例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 奈良県五條市(ごじょうし)の養鶏場(採卵鶏)、約8.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・70羽 、 3km-10km圏内 16戸・18.3万羽 、 合計 18戸・18.3万羽

### ③発生経緯

- ・12月5日(土)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、奈良県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、5日13時00分、簡易検査陽性と判明。
- ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月6日(日)0時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑨

## (17)国内17例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 広島県三原市(みはらし)の養鶏場(採卵鶏)、約8.1万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 5戸・23.3万羽 、 3km-10km圏内 21戸・72.5万羽 、 合計 26戸・95.8万羽

### ③発生経緯

- ・12月6日(日)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、広島県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日16時30分、簡易検査陽性と判明。
- ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月7日(月)5時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内17例目疫学関連農場の概要

- ・17例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、疫学関連が確認された以下の1農場の飼養鶏についても、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・飼養規模 : 広島県三原市(みはらし)の養鶏場(採卵鶏)、約5.3万羽

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑩

## (18)国内18例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県都城市(みやこのじょうし)の養鶏場(肉用鶏)、約6万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 10戸・48万羽 、 3km-10km圏内 87戸・386万羽 、 合計 97戸・434万羽
- ③発生経緯
- ・12月3日(月)の国内15例目の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認に伴い、移動制限区域内に位置する都城市の養鶏場において、移動制限の対象外協議に要する検査を実施したところ、同日、陽性と判明。
  - ・宮崎県家畜保健衛生所による立ち入り検査の結果、臨床症状が確認されたため、**12月7日(月)20時00分に疑似患畜と確定。**

## (19)国内19例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県小林市(こばやしし)の養鶏場(肉用鶏)、約4.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 10戸・43.7羽 、 3km-10km圏内 82戸・386万羽 、 合計 92戸・430万羽
- ③発生経緯
- ・12月7日(月)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日18時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月8日(火)6時00分に疑似患畜と確定。**

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑪

## (20)国内20例目の概要

①場所・飼養規模 : 大分県佐伯市(さいきし)の養鶏場(肉用鶏)、約1.4万羽

②周辺農場 : 3km圏内 1戸・0.9万羽 、 3km-10km圏内 8戸・15.9万羽 、 合計 9戸・16.7万羽

③発生経緯

・12月9日(水)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、大分県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月10日(木)5時30分に疑似患畜と確定。

## ◎国内20例目疫学関連農場の概要

・飼養管理者が同一であること等により、疫学関連が確認された以下の2農場の飼養鶏についても、家きん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

①場所・飼養規模 : 大分県佐伯市(さいきし)の養鶏場(採卵鶏)、約2.4万羽

②場所・飼養規模 : 大分県佐伯市(さいきし)の養鶏場(採卵鶏)、約1.8万羽



# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑫

## (21)国内21例目の概要

- ①場所・飼養規模 : **和歌山県紀の川市(きのかわし)**の養鶏場(採卵鶏)、**約6.7万羽**
- ②周辺農場 : 3km圏内 10戸・約400羽 、 3km-10km圏内 82戸・2.2万羽 、 合計 92戸・2.3万羽
- ③発生経緯
  - ・12月9日(水)、養鶏場で死亡等の異状を示す鶏が見られたことを受け、和歌山県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日15時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月10日(木)5時30分に疑似患畜と確定。**

## (22)国内22例目の概要

- ①場所・飼養規模 : **岡山県美作市(みまさかし)**の養鶏場(育雛)、**約52.9万羽**
- ②周辺農場 : 3km圏内 1戸・19.2万羽 、 3km-10km圏内 7戸・76.3万羽 、 合計 8戸・95.5万羽
- ③発生経緯
  - ・12月10日(木)、養鶏場で鶏の死亡が増加したことを受け、岡山県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日15時35分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月11日(金)4時00分に疑似患畜と確定。**

## ◎国内22例目疫学関連農場の概要

- ・22例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、**疫学関連が確認された以下の1農場の飼養鶏について、家さん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。**

- ①場所・飼養規模 : **岡山県美作市(みまさかし)**の養鶏場(育雛)、**約11.3万羽**



# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑬

## (23) 国内23例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 滋賀県東近江市(ひがしおうみし)の養鶏場(採卵鶏)、約1.1万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 4戸・約3.5万羽 、 3km-10km圏内 23戸・2.5万羽 、 合計 27戸・6.0万羽
- ③発生経緯
  - ・12月12日(土)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、滋賀県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日16時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月13日(日)5時00分に疑似患畜と確定。**

## (24) 国内24例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県宮崎市(みやざきし)の養鶏場(採卵鶏)、約7.0万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 3戸・約8.7万羽 、 3km-10km圏内 15戸・22.4万羽 、 合計 18戸・31.1万羽
- ③発生経緯
  - ・12月13日(日)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日19時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月14日(月)6時00分に疑似患畜と確定。**

## ◎国内24例目疫学関連農場の概要

・24例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、**疫学関連が確認された以下の2農場の飼養鶏についても、家きん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。**

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県宮崎市(みやざきし)の養鶏場(採卵鶏)、約4.5万羽
- ②場所・飼養規模 : 宮崎県宮崎市(みやざきし)の養鶏場(育雛)、約1.1万羽

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑭

## (25)国内25例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(採卵用種鶏)、約2.8万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 11戸・約40.4万羽、3km-10km圏内 92戸・299.7万羽、合計 103戸・340.2万羽
- ③発生経緯
  - ・12月13日(日)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日20時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月14日(月)10時00分に疑似患畜と確定。

## (26)国内26例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県日向市(ひゅうがし)の養鶏場(肉用鶏)、約4.5万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 59戸・約220.4万羽、3km-10km圏内 65戸・235.6万羽、合計 124戸・456.0万羽
- ③発生経緯
  - ・12月14日(月)、養鶏場で出荷時に死亡鶏の増加が見られたことを受け、農場指導員による検査で簡易陽性を確認。宮崎県家畜保健衛生所が立入検査を実施し、同日5時40分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月14日(月)16時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内26例目疫学関連施設の概要

- ・26例目農場から発生当日に出荷した先の食鳥処理場において、当該農場から出荷された鶏とともに係留中である2農場の約2万羽について、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・殺処分対象 : 宮崎県川南町(かわみなみちょう)の食鳥処理場、約2.0万羽(肉用鶏)

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑮

## (27)国内27例目の概要

①場所・飼養規模 : 高知県宿毛市(すくもし)の養鶏場(採卵鶏)、約3.2万羽

②周辺農場 : 3km圏内 0戸・0羽、3km-10km圏内 2戸・580羽、合計 2戸・580羽

③発生経緯

・12月15日(火)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、高知県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日13時30分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月16日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

## (28)国内28例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用鶏)、約1.4万羽

②周辺農場 : 3km圏内 15戸・約64.8万羽、3km-10km圏内 58戸・223.1万羽、合計 82戸・288.0万羽

③発生経緯

・12月15日(火)、養鶏場で出荷時に死亡鶏の増加が見られたことを受け、高知県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日15時30分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月16日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内28例目疫学関連農場の概要

・28例目農場の飼養管理者が出入りしていたこと等により、疫学関連が確認された以下の1農場の飼養鶏についても、家さん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

①場所・殺処分対象 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用鶏)、約1.5万羽

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑩

## (29)国内29例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 徳島県阿波市(あわし)の養鶏場(採卵鶏)、約1万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 18戸・約23万羽、3km-10km圏内 70戸・約106万羽、合計 88戸・約129万羽
- ③発生経緯
  - ・12月18日(金)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、徳島県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時10分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月19日(土)2時00分に疑似患畜と確定。

## (30)国内30例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県宮崎市(みやざきし)の養鶏場(肉用種鶏)、約3.4万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 1戸・約3.4万羽、3km-10km圏内 6戸・約2.5万羽、合計 7戸・約5.9万羽
- ③発生経緯
  - ・12月18日(金)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時10分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月19日(土)7時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑰

## (31)国内31例目の概要

①場所・飼養規模 : 香川県三豊市(みとよし)の養鶏場(肉用鶏)、約2.6万羽

②周辺農場 : 3km圏内 24戸・約62.3万羽、3km-10km圏内 64戸・約236万羽、合計 88戸・約298万羽

③発生経緯

・12月22日(火)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、香川県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日16時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月23日(水)5時00分に疑似患畜と確定。

## (32)国内32例目の概要

①場所・飼養規模 : 千葉県いすみ市(いすみし)の養鶏場(採卵鶏)、約116万羽

②周辺農場 : 3km圏内 2戸・約127.6万羽、3km-10km圏内 13戸・約3.7万羽、合計 15戸・約131.3万羽

③発生経緯

・12月23日(水)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、千葉県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日21時00分、簡易検査陽性と判明。

・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、12月24日(木)10時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑱

## (33)国内33例目の概要

- ①場所・飼養規模 : **宮崎県小林市(こばやし)**の養鶏場(肉用鶏)、**約15.4万羽**
- ②周辺農場 : 3km圏内 11戸・約37.2万羽、3km-10km圏内 97戸・約385万羽、合計 108戸・約422万羽
- ③発生経緯
  - ・12月29日(火)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**12月30日(水)5時00分に疑似患畜と確定。**

## (34)国内34例目の概要

- ①場所・飼養規模 : **岐阜県美濃加茂市(みのかもし)**の養鶏場(採卵鶏)、**約6.8万羽**
- ②周辺農場 : 3km圏内 6戸・約11.9万羽、3km-10km圏内 26戸・約100万羽、合計 32戸・約111.9万羽
- ③発生経緯
  - ・1月1日(金)、養鶏場で飼養鶏の元気消失が見られたことを受け、岐阜県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日22時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、**1月2日(土)12時00分に疑似患畜と確定。**



# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について⑱

## (35)国内35例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 千葉県いすみ市(いすみし)の養鶏場(採卵鶏)、約114.5万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 2戸・約165羽、3km-10km圏内 14戸・約3.2万羽、合計 16戸・約3.2万羽
- ③発生経緯
  - ・1月10日(日)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、千葉県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日14時48分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月11日(月)4時00分に疑似患畜と確定。

## (36)国内36例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 鹿児島県さつま町(さつまちょう)の養鶏場(肉用鶏)、約3.3万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 8戸・約31.8羽、3km-10km圏内 33戸・約163.7万羽、合計 41戸・約195.5万羽
- ③発生経緯
  - ・1月12日(火)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、鹿児島県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日12時20分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月13日(水)4時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②

## (37)国内37例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 千葉県横芝光町(よこしばひかりまち)のあひる農場、約6,000羽  
②周辺農場 : 3km圏内 6戸・約18.7羽、3km-10km圏内 25戸・約126万羽、合計 31戸・約145万羽

### ③発生経緯

- ・1月20日(水)、あひる農場で産卵率の低下(死亡なし)が見られたことを受け、千葉県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日13時10分、簡易検査陽性と判明。
- ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月21日(木)1時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内37例目疫学関連農場の概要

- ・37例目農場からひなや種卵を出荷する等により、疫学関連が確認された以下の6道府県9農場の飼養家きんについて、防疫指針も踏まえ、殺処分の対象となるあひるについて、道府県から情報収集を行うとともに、家きん疾病小委員会の専門家からの意見を聴取した上で、発生農場から導入したひなのみを殺処分。

- ①場所・殺処分対象: 北海道赤平市(あかびらし)のあひる農場、約600羽  
②場所・殺処分対象: 宮城県角田市(かくだし)のあひる農場、約500羽  
③場所・殺処分対象: 茨城県古河市(こがし)のあひる農場、約600羽  
④場所・殺処分対象: 茨城県古河市(こがし)のあひる農場、約1,000羽  
⑤場所・殺処分対象: 茨城県かすみがうら市のあひる農場、約1,000羽  
⑥場所・殺処分対象: 埼玉県行田市(ぎょうだし)のあひる農場、約900羽  
⑦場所・殺処分対象: 埼玉県春日部市(かすかべし)のあひる農場、約1,300羽  
⑧場所・殺処分対象: 大阪府松原市(まつばらし)のあひる農場、約300羽  
⑨場所・殺処分対象: 奈良県御所市(ごせし)のあひる農場、約200羽



# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②①

## (38)国内38例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 富山県小矢部市(おやべし)の養鶏場(採卵鶏)、約14.1万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 0戸・約0羽、3km-10km圏内 4戸・約72.2万羽、合計 4戸・約72.2万羽
- ③発生経緯
  - ・1月22日(金)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、富山県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日19時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月23日(土)8時00分に疑似患畜と確定。

## (39)国内39例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 千葉県匝瑳市(そうさし)のあひる農場、約3,500羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 6戸・約19万羽、3km-10km圏内 28戸・約107万羽、合計 34戸・約126万羽
- ③発生経緯
  - ・1月23日(土)、千葉県家畜保健衛生所が国内37例目の発生を受けた発生状況確認検査を実施していたところ、あひる農場において、同日8時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月24日(日)1時00分に疑似患畜と確定。

## ◎国内39例目疫学関連農場の概要

- ・39例目農場と飼養管理者が同じこと等により、疫学関連が確認された以下の1農場のあひる農場についても、家きん疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・殺処分対象 : 千葉県匝瑳市(そうさし)のあひる農場、約1,900羽

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②

## (40) 国内40例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 宮崎県新富町(しんとみちよう)の養鶏場(採卵鶏)、約8万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 34戸・約163万羽、3km-10km圏内 72戸・約370万羽、合計 106戸・約533万羽
- ③発生経緯
  - ・1月30日(土)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、宮崎県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、1月31日(日)7時00分に疑似患畜と確定。

## (41) 国内41例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 茨城県城里町(しろさとまち)の養鶏場(採卵鶏)、約84万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 4戸・約13万羽、3km-10km圏内 14戸・約91万羽、合計 18戸・約104万羽
- ③発生経緯
  - ・2月1日(月)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、茨城県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日17時00分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、2月2日(火)7時00分に疑似患畜と確定。

# 1 高病原性鳥インフルエンザの発生事例について②③

## (42)国内42例目の概要

- ①場所・飼養規模 : 千葉県匝瑳市(そうさし)の養鶏場(採卵鶏)、約16.9万羽
- ②周辺農場 : 3km圏内 12戸・約76.5万羽、3km-10km圏内 22戸・45.7万羽、合計 34戸・122.2万羽
- ③発生経緯
  - ・2月3日(水)、養鶏場で死亡鶏の増加が見られたことを受け、千葉県家畜保健衛生所が簡易検査を実施した結果、同日22時30分、簡易検査陽性と判明。
  - ・同家畜保健衛生所がPCR検査を実施し、国による確認の結果、2月4日(木)9時30分に疑似患畜と確定。

## ◎国内42例目疫学関連施設の概要

- ・42例目農場と飼養管理者が同じこと等により、疫学関連が確認された以下の1農場の飼養鶏についても、家畜疾病小委員会の専門家に意見を聴いた上で、防疫指針に基づき、疑似患畜と確定。

- ①場所・飼養規模 : 千葉県旭市(あさひし)の養鶏場(採卵鶏)、約7,500羽

## 2 総理指示 (令和2年11月5日(木)6時57分)

- 家きん業者に対し、厳重な警戒を要請するとともに、  
予防措置について適切な指導・支援を行うこと。
- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 鳥インフルエンザと考えられる家きんが確認されたことから、  
農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、  
徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

### 3 対応方針①

「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施する。

- ①当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、②農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、③半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。
- 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
- 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。
- 葉梨副大臣を香川県に派遣する等により、香川県と緊密な連携を図る。(国内1例目発生時)
- 宮内副大臣を福岡県に派遣する等により、福岡県と緊密な連携を図る。(国内9例目発生時)
- 池田政務官を兵庫県に派遣する等により、兵庫県と緊密な連携を図る。(国内10例目発生時)
- 葉梨副大臣を宮崎県に派遣する等により、宮崎県と緊密な連携を図る。(国内11例目発生時)
- 池田政務官を奈良県に派遣する等により、奈良県と緊密な連携を図る。(国内16例目発生時)
- 池田政務官を広島県に派遣する等により、広島県と緊密な連携を図る。(国内17例目発生時)
- 葉梨副大臣を大分県に派遣する等により、大分県と緊密な連携を図る。(国内20例目発生時)

### 3 対応方針②

- 11 宮内副大臣を和歌山県に派遣する等により、和歌山県と緊密な連携を図る。(国内21例目発生時)
- 12 池田政務官を岡山県に派遣する等により、岡山県と緊密な連携を図る。(国内22例目発生時)
- 13 熊野政務官を滋賀県に派遣する等により、滋賀県と緊密な連携を図る。(国内23例目発生時)
- 14 池田政務官を高知県に派遣する等により、高知県と緊密な連携を図る。(国内27例目発生時)
- 15 熊野政務官を徳島県に派遣する等により、徳島県と緊密な連携を図る。(国内29例目発生時)
- 16 葉梨副大臣を千葉県に派遣する等により、千葉県と緊密な連携を図る。(国内32例目発生時)
- 17 葉梨副大臣を岐阜県に派遣する等により、岐阜県と緊密な連携を図る。(国内34例目発生時)
- 18 葉梨副大臣と鹿児島県知事との意見交換を実施し、鹿児島県と緊密な連携を図る。  
(国内36例目発生時)
- 19 宮内副大臣と富山県知事との意見交換を実施し、富山県と緊密な連携を図る。  
(国内38例目発生時)
- 20 葉梨副大臣と茨城県知事との意見交換を実施し、茨城県と緊密な連携を図る。  
(国内41例目発生時)
- 21 必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。

### 3 対応方針③

- 22 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、**農林水産省等の専門家を現地に派遣**。
- 23 感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、**大臣官房審議官(消費・安全局)を本部長とする農林水産省現地対策本部を設置**し、香川県と緊密な連携を図り、**防疫措置の徹底及び農場間の疫学関連の分析**等を行う。(11月15日(日)5時00分現地対策本部設置)(国内5例目発生時)
- 24 「**疫学調査チーム**」の派遣。
- 25 発生県における殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の**動物検疫所、家畜改良センター**等から「**緊急支援チーム**」を派遣。
- 26 全都道府県に対し、**飼養衛生管理の強化の再徹底**(①**早期発見及び早期通報の徹底**、②**防鳥ネット設置・車両出入りの厳重管理**、③**農場消毒の再徹底**)を改めて通知。
- 27 関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への**正確な情報の提供**に努める。



# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況①

令和3年2月4日 9時30分現在

事例数：42事例（防疫措置対象：64農場、1施設 約728万羽）				農林水産省 対策本部	防疫対応状況（予定は最短の場合）						
発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2、3		措置完了日(0日目)		10日目		～		21日目
					防疫措置（殺処分、消毒等）		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除		
					開始	完了					
1	香川①	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月5日	317,201羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月5日	11月15日	1月11日	1月11日	1月16日		
2	香川②	養鶏場 (香川県東かがわ市)	令和2年 11月8日	46,259羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月8日	11月12日	11月27日	11月28日	12月4日		
3	香川③	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月11日	10,587羽 (肉用種鶏・平飼い)	11月11日 (持ち回り)	11月21日	1月11日	1月11日	1月16日		
4	香川④	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月13日	10,334羽 (肉用種鶏・平飼い)	11月13日	11月17日	1月11日	1月11日	1月16日		
5	香川⑤	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月15日	77,089羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月15日 (持ち回り)	11月25日	1月11日	1月11日	1月16日		
6	香川⑥	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月20日	153,850羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月20日 (持ち回り)	11月20日	12月11日	1月11日	1月16日		
6'	香川⑥'	養鶏場 (香川県三豊市)	—	117,394羽 (採卵鶏)		11月20日	12月11日	—	—		
6'	香川⑥'	養鶏場 (香川県三豊市)	—	20,393羽 (採卵鶏)		11月21日	12月11日	—	—		
6'	香川⑥'	養鶏場 (香川県三豊市)	—	57,103羽 (肉用鶏)		11月21日	12月11日	—	—		
6'	香川⑥'	養鶏場 (香川県三豊市)	—	17,140羽 (肉用鶏)		11月22日	12月11日	—	—		
7	香川⑦	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月20日	439,267羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月21日	12月12日	1月11日	1月11日	1月16日		
8	香川⑧	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 11月21日	75,349羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月21日 (持ち回り)	12月7日	1月11日	1月11日	1月16日		

※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。



# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況②

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2	農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)					
					措置完了日(0日目)		10日目		21日目	
					防疫措置(殺処分・消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
9	福岡① 養鶏場 (福岡県宗像市)	令和2年 11月25日	91,945羽 (肉用鶏・平飼い)	11月25日 (持ち回り・参集)	11月25日 5時30分	11月28日 5時45分	12月13日 終了	12月14日 0時00分	12月20日 0時00分	
10	兵庫① 養鶏場 (兵庫県淡路市)	令和2年 11月25日	145,024羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	11月25日 (持ち回り・参集)	11月25日 22時30分	12月3日 17時00分	— ※対象農場なし	12月14日 0時00分	12月25日 0時00分	
11	宮崎① 養鶏場 (宮崎県日向市)	令和2年 12月1日	39,693羽 (肉用鶏・平飼い)	12月1日 (持ち回り・参集)	12月1日 4時30分	12月2日 15時30分	— ※対象農場なし	12月13日 0時00分	12月24日 0時00分	
12	宮崎② 養鶏場 (宮崎県都農町)	令和2年 12月2日	30,111羽 (肉用鶏・平飼い)	12月2日 (持ち回り)	12月2日 0時30分	12月2日 15時05分	12月17日 終了	12月17日 20時00分	12月24日 0時00分	
13	香川⑨ 養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 12月2日	224,521羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月2日 (持ち回り)	12月2日 5時00分	12月12日 15時30分	1月11日 終了	1月11日 22時00分	1月16日 0時00分	
13'	香川⑨' (関連)	—	123,288羽 (採卵鶏)		12月2日 5時00分	12月12日 15時30分	—	—	—	
14	香川⑩ 養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 12月2日	19,233羽 (採卵鶏・ケージ飼い)		12月2日 5時00分	12月7日 15時20分	1月11日 終了	1月11日 22時00分	1月16日 0時00分	
15	宮崎③ 養鶏場 (宮崎県都城市)	令和2年 12月3日	35,852羽 (肉用鶏・平飼い)	12月3日 (持ち回り)	12月3日 0時30分	12月3日 19時00分	12月23日 終了	12月23日 20時00分	1月22日 0時00分	
16	奈良① 養鶏場 (奈良県五條市)	令和2年 12月6日	77,386羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月6日 (持ち回り・参集)	12月6日 6時00分	12月11日 23時30分	12月26日 終了	12月27日 0時00分	1月2日 0時00分	
17	広島① 養鶏場 (広島県三原市)	令和2年 12月7日	84,667羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月7日 (持ち回り・参集)	12月7日 11時20分	12月17日 16時00分	1月1日 終了	1月2日 0時00分	1月8日 0時00分	
17'	広島①' (関連)	—	52,285羽 (採卵鶏)		12月7日 11時20分	12月17日 16時00分	—	—	—	
18	宮崎④ 養鶏場 (宮崎県都城市)	令和2年 12月7日	59,422羽 (肉用鶏・平飼い)	12月7日 (持ち回り)	12月8日 1時30分	12月8日 16時55分	12月23日 終了	12月23日 20時00分	1月22日 0時00分	
19	宮崎⑤ 養鶏場 (宮崎県小林市)	令和2年 12月8日	42,372羽 (肉用鶏・平飼い)	12月8日 (持ち回り)	12月8日 6時00分	12月8日 21時00分	12月23日 終了	12月23日 20時00分	1月22日 0時00分	

※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況③

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2	農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)					
					措置完了日(0日目)		10日目		21日目	
					防疫措置(殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
					開始	完了				
20	大分①	養鶏場 (大分県佐伯市)	令和2年 12月10日	約1.4万羽 (肉用鶏・平飼い)	12月10日 (持ち回り・参集)	12月10日 5時30分	12月11日 23時30分	12月26日 終了	12月27日 0時00分	1月2日 0時00分
20'	大分①' (関連)	養鶏場 (大分県佐伯市)	-	約2.4万羽 (肉用鶏)		12月10日 5時30分	12月11日 23時30分	-	-	-
20'	大分①' (関連)	養鶏場 (大分県佐伯市)	-	約1.8万羽 (肉用鶏)		12月10日 5時30分	12月11日 23時30分	-	-	-
21	和歌山①	養鶏場 (和歌山県紀の川市)	令和2年 12月10日	67,580羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月10日 (持ち回り・参集)	12月10日 5時30分	12月13日 19時00分	12月28日 終了	12月29日 0時00分	1月4日 0時00分
22	岡山①	養鶏場 (岡山県美作市)	令和2年 12月11日	526,721羽 (育雛・ケージ飼い)	12月11日 (持ち回り・参集)	12月11日 4時00分	12月17日 22時00分	1月1日 終了	1月1日 12時00分	1月8日 0時00分
22'	岡山①' (関連)	養鶏場 (岡山県美作市)	-	117,804羽 (育雛)		12月14日 11時00分	12月17日 22時00分	-	-	-
23	滋賀①	養鶏場 (滋賀県東近江市)	令和2年 12月13日	10,338羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月13日 (持ち回り・参集)	12月13日 5時00分	12月14日 20時30分	12月29日 終了	12月30日 0時00分	1月5日 0時00分
24	宮崎⑥	養鶏場 (宮崎県宮崎市)	令和2年 12月14日	69,528羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月14日 (持ち回り)	12月14日 6時00分	12月17日 18時00分	1月1日 終了	1月1日 16時00分	1月8日 0時00分
24'	宮崎⑥' (関連)	養鶏場 (宮崎県宮崎市)	-	44,837羽 (採卵鶏)		12月14日 6時00分	12月17日 18時00分	-	-	-
24'	宮崎⑥' (関連)	養鶏場 (宮崎県宮崎市)	-	11,490羽 (育雛)		12月14日 6時00分	12月17日 18時00分	-	-	-
25	香川⑩	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 12月14日	27,670羽 (採卵用種鶏・ケージ飼い)	12月14日 (持ち回り)	12月14日 10時00分	12月17日 14時40分	1月11日 終了	1月11日 22時00分	1月16日 0時00分
26	宮崎⑦	養鶏場 (宮崎県日向市)	令和2年 12月14日	33,047羽 (肉用鶏・平飼い)	12月14日 (持ち回り)	12月14日 17時00分	12月15日 21時00分	12月30日 終了	12月30日 23時00分	1月6日 0時00分
26'	宮崎⑦' (関連)	食鳥処理場 (宮崎県川南町)	-	12,600羽 (肉用鶏)		12月14日 17時00分	12月15日 21時00分	-	-	-

※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況④

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2	農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)							
					措置完了日(0日目)		10日目			～		21日目
					防疫措置(殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除			
開始	完了											
27	高知①	養鶏場 (高知県宿毛市)	令和2年 12月16日	27,356羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月16日 (持ち回り・参集)	12月16日 5時00分	12月19日 19時00分	— ※対象農場なし	12月30日 0時00分	1月10日 0時00分		
28	香川⑫	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 12月16日	14,363羽 (肉用鶏・平飼い)	12月16日 (持ち回り)	12月16日 5時00分	12月19日 16時10分	1月11日 終了	1月11日 22時00分	1月16日 0時00分		
28'	香川⑫'	養鶏場 (香川県三豊市)	—	14,910羽 (肉用鶏)		12月16日 5時00分	12月19日 16時10分	—	—	—		
29	徳島①	養鶏場 (徳島県阿波市)	令和2年 12月19日	8,149羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り・参集)	12月19日 2時15分	12月21日 17時30分	1月7日 終了	1月7日 20時00分	1月12日 0時00分		
30	宮崎⑧	養鶏場 (宮崎県宮崎市)	令和2年 12月19日	32,826羽 (肉用種鶏・ケージ飼い)	12月19日 (持ち回り)	12月19日 7時00分	12月20日 15時00分	1月4日 終了	1月4日 16時00分	1月11日 0時00分		
31	香川⑬	養鶏場 (香川県三豊市)	令和2年 12月23日	25,416羽 (肉用鶏・平飼い)	12月23日 (持ち回り)	12月23日 6時00分	12月25日 11時30分	1月11日 終了	1月11日 22時00分	1月16日 0時00分		
32	千葉①	養鶏場 (千葉県いすみ市)	令和2年 12月24日	約116万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	12月24日 (持ち回り)	12月24日 10時00分	(殺処分は 1月2日に 完了)	—	—	—		
33	宮崎⑨	養鶏場 (宮崎県小林市)	令和2年 12月30日	149,735羽 (肉用鶏・平飼い)	12月30日 (持ち回り)	12月30日 5時00分	12月31日 11時00分	1月15日 終了	1月15日 19時00分	1月22日 0時00分		
34	岐阜①	養鶏場 (岐阜県美濃加茂市)	令和3年 1月2日	67,702羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月2日 (持ち回り・参集)	1月2日 12時00分	1月5日 15時10分	1月20日 終了	1月20日 22時00分	1月27日 0時00分		
35	千葉②	養鶏場 (千葉県いすみ市)	令和3年 1月11日	約115万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月11日 (持ち回り)	1月11日 4時00分	(殺処分は 1月19日に 完了)	—	—	—		
36	鹿児島①	養鶏場 (鹿児島県さつま町)	令和3年 1月13日	約3.2万羽 (肉用鶏・平飼い)	1月13日 (持ち回り・参集)	1月13日 4時00分	1月14日 23時00分	1月29日 終了	1月30日 10時00分	2月5日 予定		
37	千葉③	あひる農場 (千葉県横芝光町)	令和3年 1月21日	約6,000羽 (あひる・平飼い)	1月21日 (持ち回り)	1月21日 4時00分	1月23日 17時10分	2月6日 開始予定	2月10日以降 予定	2月14日 予定		
37'	千葉③'	あひる農場 (北海道赤平市)	—	約600羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 3時40分	—	—	—		

※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑤

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2	農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)							
					措置完了日(0日目)		10日目			～		21日目
					防疫措置(殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除			
					開始	完了						
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (宮城県角田市)	—	約500羽 (あひる)※3	1月21日 (持ち回り)	1月21日 2時30分	1月21日 6時05分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (茨城県古河市)	—	約600羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 10時00分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (茨城県古河市)	—	約1,000羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 10時00分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (茨城県かすみがうら市)	—	約1,000羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 2時45分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (埼玉県行田市)	—	約900羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 12時30分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (埼玉県春日部市)	—	約1,300羽 (あひる)※3		1月21日 1時00分	1月21日 13時30分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (大阪府松原市)	—	約300羽 (あひる)※3		1月21日 6時30分	1月21日 13時25分	—	—	—		
37' (関連)	千葉③' (関連)	あひる農場 (奈良県御所市)	—	約200羽 (あひる)※3		1月21日 7時00分	1月21日 8時03分	—	—	—		
38	富山①	養鶏場 (富山県小矢部市)	令和3年 1月23日	約14.1万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月23日 (持ち回り・参集)	1月23日 8時30分	1月28日 17時00分	— ※対象農場なし	2月8日 予定	—		
39	千葉④	あひる農場 (千葉県匝瑳市)	令和3年 1月24日	約3,500羽 (あひる・平飼い)	1月24日 (持ち回り)	1月24日 6時00分	1月26日 16時00分	2月6日 開始予定	2月10日以降 予定	2月17日 予定		
39' (関連)	千葉④' (関連)	あひる農場 (千葉県匝瑳市)	—	約1,900羽 (あひる)		1月24日 6時00分	1月26日 16時00分	—	—	—		
40	宮崎⑩	養鶏場 (宮崎県新富町)	令和3年 1月31日	約8万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	1月31日 (持ち回り)	1月31日 7時00分	2月1日 14時00分	—	—	—		
41	茨城①	養鶏場 (茨城県城里町)	令和3年 2月2日	約84万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	2月2日 (持ち回り・参集)	2月2日 7時00分	—	—	—	—		

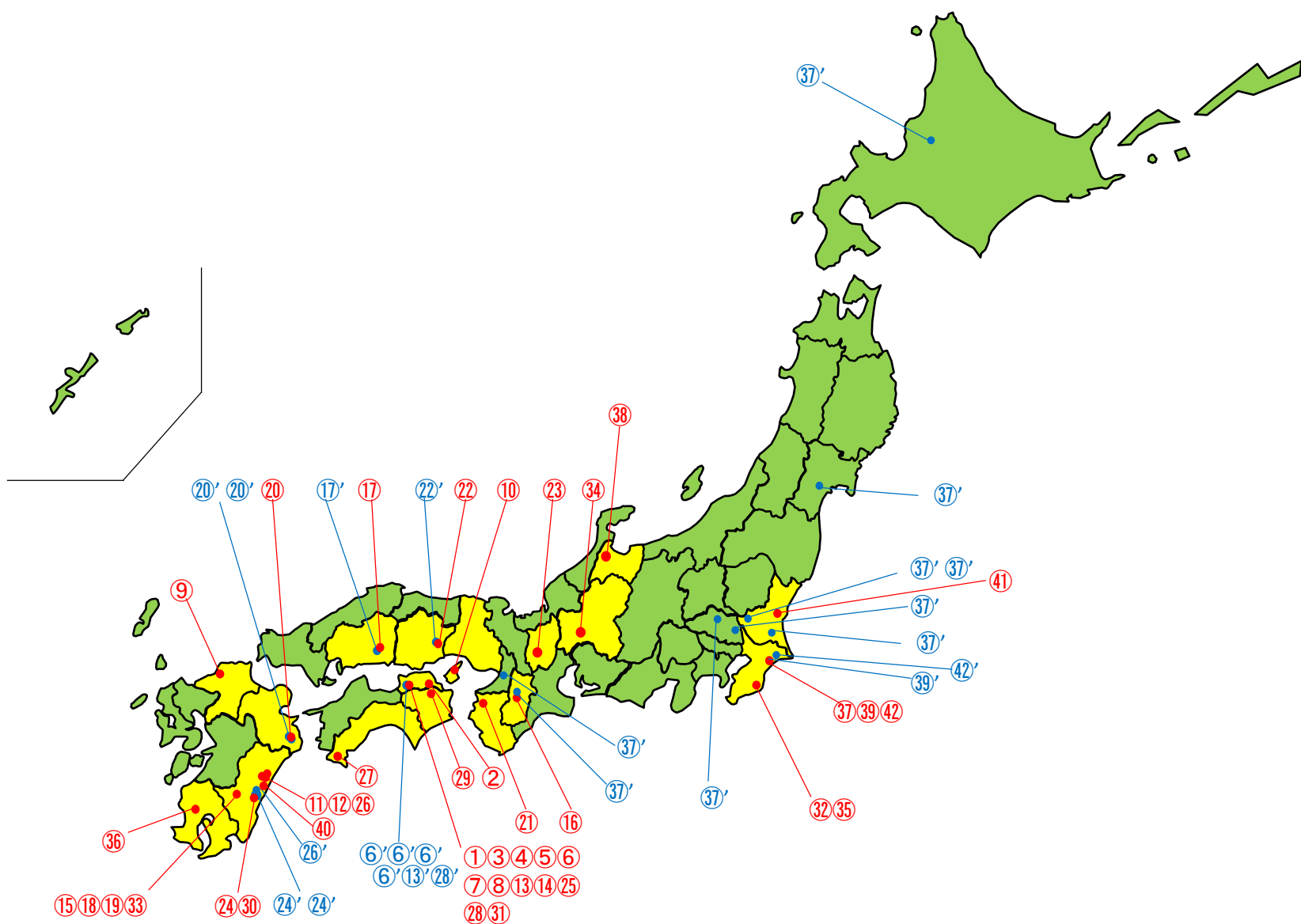
※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑥

発生場所		発生日 ※1	飼養羽数 ※2	農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)					
					措置完了日(0日目)		10日目	～		21日目
					防疫措置(殺処分、消毒等)		清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
開始	完了									
42	千葉⑤	養鶏場 (千葉県匝瑳市)	令和3年 2月4日	約16.9万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)	2月4日 (持ち回り)	2月4日 9時30分		—	—	—
42' (関連)	千葉⑤'	養鶏場 (千葉県旭市)	—	約7,500羽 (採卵鶏)		2月4日 9時30分				

※1 疑似患者と確定した日 ※2 殺処分時の最終羽数(殺処分未了の場合は見込みの羽数)  
 ※3 飼養方法は主として疫学調査結果から引用。ただし、疫学関連農場については疫学調査を実施していないため飼養方法は記載せず。

# 4 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の進捗状況⑦



※赤字は家きんでの発生農場  
 ※青字は疫学関連農場



# 5 輸出への影響

## (1) 輸出一時停止の経緯

11月5日、香川県における高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、同日から、日本全国の家きん肉及び卵の輸出を一時停止。

## (2) 輸出再開に向けた協議

11月5日に輸出相手国当局に対し、地域主義(※)の適用等を活用した輸出再開を要請。

※地域主義とは、疾病発生国であっても未発生地域を特定し、そこからの輸入を可能とするOIEルールで認められている措置。

## (3) 協議状況

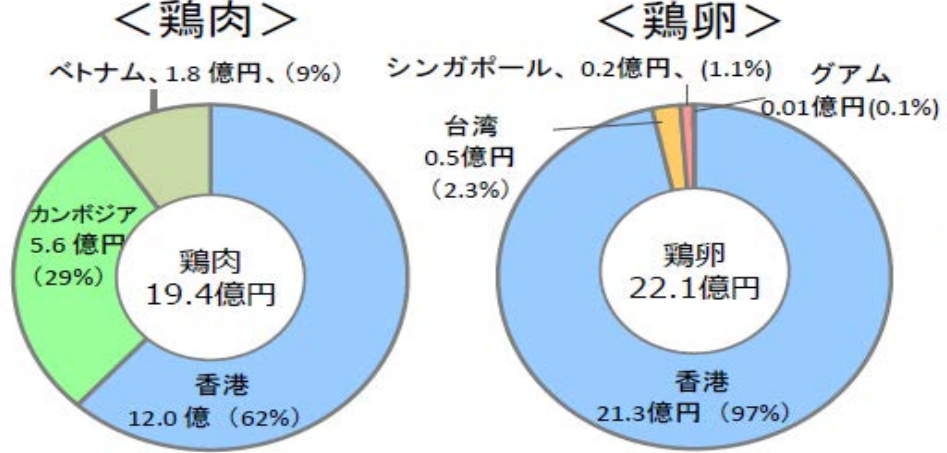
- ①香港 : 11月6日、香川県以外で生産及び処理された家きん肉及び卵の輸出を再開。
- ②ベトナム : 11月12日、香川県以外で生産及び処理された家きん肉の輸出を再開。
- ③シンガポール : 11月9日、香川県以外で生産及び処理された家きん肉及び卵の輸出を再開。
- ④米国 : 11月11日、香川県以外で生産及び処理され、かつ香川県を經由していない家きん卵の輸出を再開。
- ⑤マカオ : 11月27日、香川県、福岡県及び兵庫県以外で生産及び処理された家きん肉及び卵の輸出を再開。

注: その後の各事例の発生に伴い、発生県で生産又は処理されたものについても、輸出を停止。

※カンボジア : 日本国内で流通している家きん肉・肉製品のカンボジアへの輸入が認められており、今般の発生後、カンボジア当局にも一報の上、輸出を継続。

※フィリピン : 複数県での継続的な発生に伴い、12月14日付で日本全国からの家きん等の輸入を停止。(なお、日本からの家きん肉及び生鮮卵の輸出実績はない)

### 【参考: 鶏肉及び鶏卵の輸出実績(2019年)について】



# 【参考】高病原性鳥インフルエンザとは

## (1)原因(病原体)

OIEが作成した診断基準により高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルスの感染による家きんの疾病

## (2)対象家きん

鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥

## (3)症状・特徴

震え、起立不能、斜頸などの神経症状、沈鬱、食欲消失、急激な産卵低下・停止、顔の腫れ、トサカ・脚の変色(紫色)、咳、鼻水、下痢。

急性例ではこれらの症状を認めず、急死する場合もある。

※人獣共通感染症:海外では、家きん等との密接接触に起因する高病原性鳥インフルエンザウイルスの人の感染及び死亡事例も報告

## (4)発生状況

渡り鳥により国内に持ち込まれることが多く、冬期に発生しやすい。我が国において、直近では、平成26、28、29年度(平成30年1月)に発生。これまでは11月下旬以降に発生していたが、令和2年度は11月上旬に発生。



元気消失



# 【参考】高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2020年以降)

## 《アフリカ》

南アフリカ共和国	H7(低)	2020.11.9
	H5(低)	2020.8.27
	H5N8(高)	2020.6.4
セネガル	H5N1(高)	2020.12.23 [2021.1.14]
ナイジェリア	H5N1(高)	2020.12.17
モーリタニア	H5N1(高)	2021.1.27

## 《中東》

イラク	H5N8(高)	2021.1.11
サウジアラビア	H5N8(高)	2020.1.30
クウェート	H5N8(高)	2020.11.4

## 《ロシア・NIS諸国》

ロシア	H5(高)	2020.9.30 [2020.12.17]
	H5N8(高)	2021.1.1 [2021.1.5]
	H5N5(高)	2020.9.13

高病原性発生地域= ■  
 低病原性発生地域= ■

※ ( )は病原性  
 ※ 高病原性・低病原性併発地域は高病原性に色分け

## 《南北アメリカ》

米国		
ノースカロライナ州	H7N3(低)	2020.3.10
サウスカロライナ州	H7N3(高)	2020.4.6

## 《ヨーロッパ》

オランダ	H5N1(高)	2021.1.4 [2020.11.9]	スペイン	H5N8(高)	[2021.1.5]
	H5N5(高)	[2020.11.17]	デンマーク	H5N1(低)	2020.1.27
	H5N8(高)	2020.12.6 [2020.12.27]		H5N5(高)	[2020.11.9]
	H5(低)	2020.12.4		H5N8(高)	2020.12.31 [2021.1.10]
ベルギー	H5N5(高)	2021.1.26	ポーランド	H5N8(高)	2021.1.30 [2021.1.28]
	H5N8(高)	[2021.1.11]	スロバキア	H5N8(高)	2020.1.28 [2021.1.15]
	H5N1(高)	[2020.11.2]		H5N5(高)	2021.1.22
	H5(高)	[2021.1.16]	ハンガリー	H5N8(高)	2021.1.12 [2020.12.22]
	H5(低)	2020.12.14	ルーマニア	H5N8(高)	2020.1.16 [2021.1.13]
ブルガリア	H5N8(高)	2020.6.4		H5N5(高)	[2021.1.25]
ドイツ	H5(高)	[2020.12.24]	チェコ	H5N8(高)	2021.1.20 [2021.1.24]
	H5N8(高)	2021.1.28	ウクライナ	H5N8(高)	2021.1.18
	H5N3(高)	[2021.1.6]	イタリア	H5(高)	[2020.11.21]
	H5N5(高)	[2021.1.22]		H5N1(高)	[2020.12.24]
	H5N1(高)	[2020.12.27]		H5N3(低)	2020.6.15
英国	H5N4(高)	[2021.1.7]		H5N5(高)	[2020.11.28]
	H5N2(低)	2020.10.30		H5N8(高)	2021.1.22 [2021.1.21]
	H5N1(高)	2020.12.13		H5(低)	2020.11.17
		[2021.1.13]		H7N1(低)	2020.4.16
	H5N8(高)	2021.1.24 [2021.1.2]	フランス	H5N8(高)	2021.1.28 [2021.1.8]
	H5N5(高)	[2020.12.1]		H5(高)	[2020.11.23]
	H5N3(高)	[2021.1.14]		H5N3(低)	2021.1.18
アイルランド	H5N8(高)	2020.12.9 [2021.1.16]	ノルウェー	H5N8(高)	[2021.1.26]
	H5N3(高)	[2021.1.8]	クロアチア	H5N8(高)	2020.11.17
スウェーデン	H5N8(高)	2021.1.13 [2020.12.19]	スロベニア	H5N8(高)	[2020.12.10]
	H5N5(高)	2021.1.17 [2020.11.25]		H5N5(高)	[2020.12.24]
フィンランド	H5N8(高)	2020.11.4	リトアニア	H5N8(高)	2021.1.8 [2021.1.8]

日本	H5N8(高)	2021.2.2 [2021.1.27]
	H5(高)	2021.2.4

## 《オセアニア》

オーストラリア	H7N7(高)	2020.8.23
	H5N2(低)	2020.8.8
	H7N6(低)	2020.8.18

## 《アジア》

中国	H5N1(高)	2020.1.24
	H5N6(高)	2020.2.2 [2020.1.9]
	H5N8(高)	[2021.1.25]
韓国	H5N8(高)	2021.2.2 [2021.1.21]
	H5N9(低)	[2020.11.17]他
台湾	H5(高)	[2020.12.15]
	H5N2(高)	2021.1.21
	H5N5(高)	2021.1.15
インド	H5N1(高)	2021.1.14 [2021.1.8]
	H5N8(高)	2021.1.8 [2021.1.1]
イラン	H5N8(高)	2021.1.12 [2020.11.25]
イスラエル	H5N8(高)	2020.12.11 [2021.1.14]
カザフスタン	H5(高)	2020.10.26 [2020.9.5]
ネパール	H5N1(高)	2020.8.19
	H5N8(高)	2021.1.21
フィリピン	H5N6(高)	2020.8.10
ベトナム	H5N1(高)	2020.12.31
	H5N6(高)	2021.1.8
ラオス	H5N1(高)	2020.9.16
カンボジア	H5N1(高)	2021.1.5
香港	H5N8(高)	[2021.1.28]

※日付は発生日又は検体回収日に基づく  
 ※赤字は更新点  
 ※[ ]は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す  
 ※本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない  
 ※型別に最新の発生事例を記載

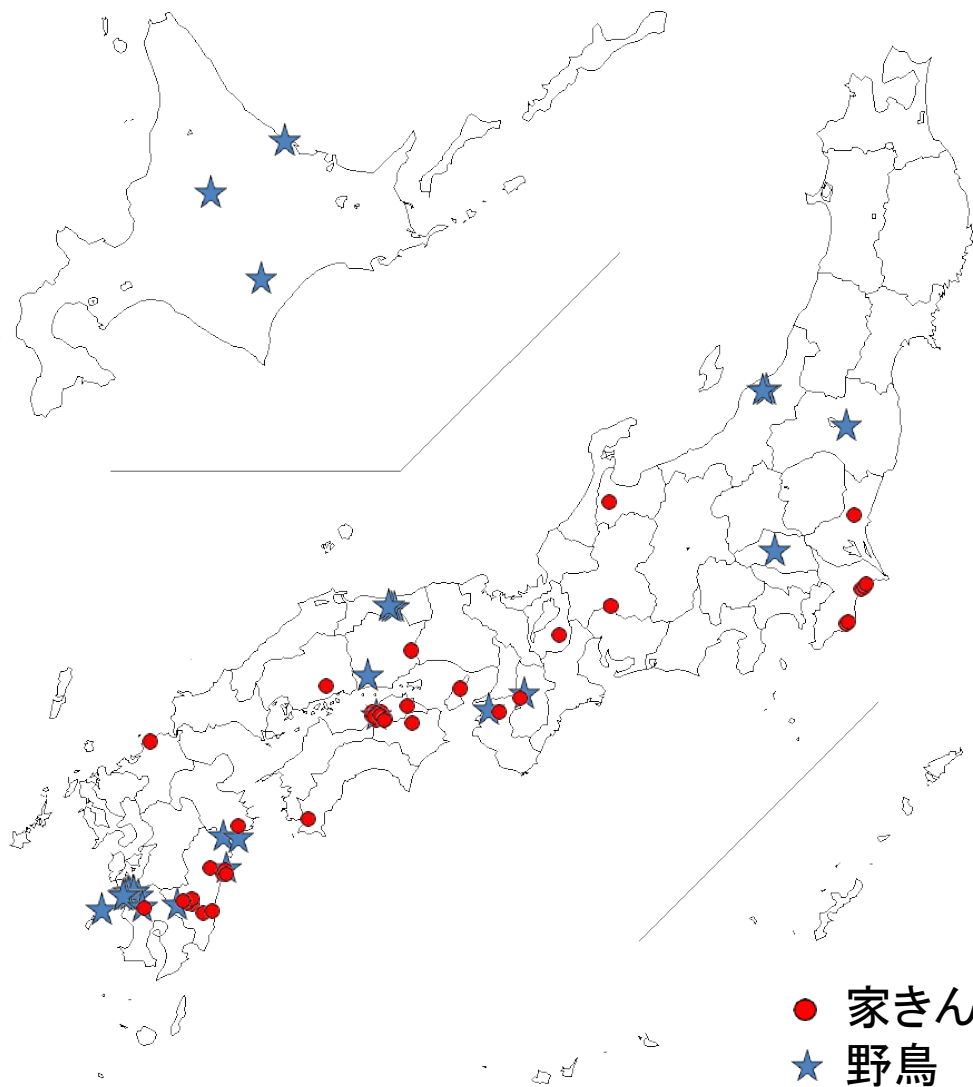
出典:OIE等

# 【参考】令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

家きん 17県42事例(H5N8\*) \* 42例目は病原性、亜型検査中

(令和3年2月4日時点)

事例	発生場所 (疑似患畜判定日)	飼養状況 (万羽)	事例	発生場所 (疑似患畜判定日)	飼養状況 (万羽)
1	香川県三豊市(11/5)	採卵鶏約31.7	26	宮崎県日向市(12/14)	肉用鶏約3.3
2	香川県東かがわ市(11/8)	採卵鶏約4.6	26関連	宮崎県川南町(12/14)	肉用鶏約1.3 (食鳥処理場)
3	香川県三豊市(11/11)	肉用種鶏約1.1	27	高知県宿毛市(12/16)	採卵鶏約2.7
4	香川県三豊市(11/13)	肉用種鶏約1	28	香川県三豊市(12/16)	肉用鶏約1.4
5	香川県三豊市(11/15)	採卵鶏約7.7	28関連	香川県三豊市(12/16)	肉用鶏約1.5
6	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約15.4	29	徳島県阿波市(12/19)	採卵鶏約0.8
6関連	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約11.7	30	宮崎県宮崎市(12/19)	肉用種鶏約3.3
6関連	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約2	31	香川県三豊市(12/23)	肉用鶏約2.5
6関連	香川県三豊市(11/20)	肉用鶏約5.7	32	千葉県いすみ市(12/24)	採卵鶏約116
6関連	香川県三豊市(11/20)	肉用鶏約1.7	33	宮崎県小林市(12/30)	肉用鶏約15
7	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約43.9	34	岐阜県美濃加茂市(1/2)	採卵鶏約6.8
8	香川県三豊市(11/21)	採卵鶏約7.5	35	千葉県いすみ市(1/11)	採卵鶏約115
9	福岡県宗像市(11/25)	肉用鶏約9.2	36	鹿児島県さつま町(1/13)	肉用鶏約3.2
10	兵庫県淡路市(11/25)	採卵鶏約14.5	37	千葉県横芝光町(1/21)	あひる約6
11	宮崎県日向市(12/1)	肉用鶏約4	37関連	北海道赤平市(1/21)	あひる約0.06
12	宮崎県都農町(12/2)	肉用鶏約3	37関連	宮城県角田市(1/21)	あひる約0.05
13	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約22.5	37関連	茨城県古河市(1/21)	あひる約0.06
13関連	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約12.3	37関連	茨城県古河市(1/21)	あひる約0.1
14	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約1.9	37関連	茨城県かすみがうら市 (1/21)	あひる約0.1
15	宮崎県都城市(12/3)	肉用鶏約3.6	37関連	埼玉県行田市(1/21)	あひる約0.09
16	奈良県五條市(12/6)	採卵鶏約7.7	37関連	埼玉県春日部市(1/21)	あひる約0.13
17	広島県三原市(12/7)	採卵鶏約8.5	37関連	大阪府松原市(1/21)	あひる約0.03
17関連	広島県三原市(12/7)	採卵鶏約5.2	37関連	奈良県御所市(1/21)	あひる約0.02
18	宮崎県都城市(12/7)	肉用鶏約5.9	38	富山県小矢部市(1/23)	採卵鶏14.1
19	宮崎県小林市(12/8)	肉用鶏約4.3	39	千葉県匝瑳市(1/24)	あひる約0.35
20	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約1.4	39関連	千葉県匝瑳市(1/24)	あひる約0.19
20関連	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約2.4	40	宮崎県新富町(1/31)	採卵鶏約8
20関連	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約1.8	41	茨城県城里町(2/2)	採卵鶏約84
21	和歌山県紀の川市 (12/10)	採卵鶏約6.8	42	千葉県匝瑳市(2/4)	採卵鶏約16.9
22	岡山県美作市(12/11)	育雛約52.7	42関連	千葉県旭市(2/4)	採卵鶏約0.75
22関連	岡山県美作市(12/11)	育雛約11.8			
23	滋賀県東近江市(12/13)	採卵鶏約1.0			
24	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約7			
24関連	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約4.5			
24関連	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約1.1			
25	香川県三豊市(12/14)	採卵種鶏約2.8			



● 家きん  
★ 野鳥

野鳥 10道県38事例(H5N8) 2道県2事例(検査中) 月日は検体回収日(同月日重複は別事例)

北海道紋別市糞便(10/24)・帯広市死亡ハヤブサ(1/18)・旭川市死亡オジロワシ(1/27)、新潟県阿賀野市環境試料(水)(11/16)・糞便(11/16)、埼玉県ときがわ町死亡フクロウ(12/23)、和歌山県和歌山市死亡オシドリ(12/3)、奈良県大淀町死亡オオタカ(12/20)、鳥取県鳥取市糞便(12/7,21)・環境試料(水)(12/9)、岡山県矢掛町死亡ハヤブサ(12/4)、香川県三豊市死亡ノスリ(12/8)、鹿児島県出水市糞便(11/5)・環境試料(水)(11/9,16,23,30,12/7,7,14,14,21,21,1/8,1/11,11,22,25)・死亡ナベヅル(12/18)・衰弱オシドリ(12/22)・死亡ナベヅル(1/19)・薩摩川内市死亡マガモ(1/16)、宮崎県延岡市糞便(1/3)・死亡オナガガモ(1/6)・都農町糞便(11/30)・高原町死亡マガモ(1/24,24)、【検査中】宮崎県高原町死亡マガモ(1/24)・鹿児島県さつま町死亡ノスリ(2/1)

令和3年2月4日

## 高病原性鳥インフルエンザに係る環境省の対応について

環 境 省

### 1. 家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る環境省の対応

#### (1) 千葉県<sup>そうさし</sup>匝瑳市（家きん国内42例目）

- 発生農場周辺半径10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定し、千葉県に野鳥の監視を強化するよう要請。
- 関東地方環境事務所に、千葉県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を指示。
- 千葉県と調整の上、野鳥での感染状況の把握等を目的とした野鳥緊急調査を実施する予定。

(2) 国内における家きんでの発生に係る環境省の対応状況

- 国内における家きんでの発生を受けた野鳥関係の対応状況は、表1のとおり。

(表1) 国内における家きんでの発生を受けた野鳥関係の対応状況

	確認日	場所	緊急調査	野鳥監視重点区域の設定日
1	11月5日	香川県三豊市	11月6日～8日	11月5日～1月24日
2	11月8日	香川県東かがわ市	11月9日～11日	11月8日～12月12日
3	11月11日	香川県三豊市	11月12日～14日	11月11日～1月24日
4	11月13日	香川県三豊市	11月14日～16日	11月13日～1月24日
5	11月15日	香川県三豊市	－※	11月15日～1月24日
6	11月20日	香川県三豊市	－※	11月20日～1月24日
7	11月20日	香川県三豊市	－※	11月20日～1月24日
8	11月21日	香川県三豊市	－※	11月21日～1月24日
9	11月25日	福岡県宗像市	11月26日～28日	11月25日～12月28日
10	11月25日	兵庫県淡路市	12月1日～2日	11月25日～1月2日
11	12月1日	宮崎県日向市	12月3日	12月1日～1月14日
12	12月2日	宮崎県都農町	12月6日	12月2日～1月14日
13	12月2日	香川県三豊市	－※	12月2日～1月24日
14	12月2日	香川県三豊市	－※	12月2日～1月24日
15	12月3日	宮崎県都城市	12月7日	12月3日～
16	12月6日	奈良県五條市	12月9日～10日	12月6日～1月19日
17	12月7日	広島県三原市	12月8日～9日	12月7日～1月16日
18	12月7日	宮崎県都城市	－※	12月7日～
19	12月8日	宮崎県小林市	－※	12月8日～
20	12月10日	大分県佐伯市	12月10日～12日	12月10日～1月10日
21	12月10日	和歌山県紀の川市	12月11日～13日	12月10日～1月12日
22	12月11日	岡山県美作市	12月16日～18日	12月11日～1月16日
23	12月13日	滋賀県東近江市	12月16日～17日	12月13日～1月13日
24	12月14日	宮崎県宮崎市	12月16日	12月14日～
25	12月14日	香川県三豊市	－※	12月14日～1月24日

26	12月14日	宮崎県日向市	12月17日	12月14日～1月14日
27	12月16日	高知県宿毛市	12月22日 (高知県) 12月24日 (愛媛県)	12月16日～1月18日
28	12月16日	香川県三豊市	－※	12月16日～1月24日
29	12月19日	徳島県阿波市	12月19日、22日	12月19日～1月20日
30	12月19日	宮崎県宮崎市	12月20日	12月19日～
31	12月23日	香川県三豊市	－※	12月23日～1月24日
32	12月24日	千葉県いすみ市	12月25日～27日	12月24日～
33	12月30日	宮崎県小林市	－※	12月30日～
34	1月2日	岐阜県美濃加茂市	1月4日	1月2日～
35	1月11日	千葉県いすみ市	－※	1月11日～
36	1月13日	鹿児島県薩摩郡 さつま町	1月13日～15日	1月13日～
37	1月21日	千葉県山武郡 横芝光町	1月21日	1月21日～
38	1月23日	富山県小矢部市	1月23日～25日	1月23日～
39	1月24日	千葉県匝瑳市	－※	1月24日～
40	1月31日	宮崎県児湯郡 新富町	2月4日	1月31日～
41	2月2日	茨城県東茨城郡 城里町	調整中	2月2日～
42	2月4日	千葉県匝瑳市	調整中	2月4日～

※ 既指定の野鳥監視重点区域と範囲が重なっており、野鳥緊急調査を実施後、継続して野鳥の監視を強化している。

## 2. 野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る環境省の対応

- 冬鳥の渡来に合わせ、10月～翌年4月にかけて全国の渡来地で野鳥の糞便を採集するとともに、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、鳥インフルエンザウイルスの保有状況に関する調査を実施（野鳥サーベイランス）。
- 今シーズンの発生状況を踏まえ、糞便調査については、渡り鳥の飛来時期や飛来状況等も踏まえ、より適切な時期に実施するとともに、実施回数や実施箇所数を増やすことで、さらにサーベイランスを強化するよう都道府県に対して令和2年11月12日付けで依頼。
- 今シーズンは現時点で、10道県で計38例の高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が確認されている（表2）。
- 国内の複数箇所で大病原性鳥インフルエンザの発生が確認されているため、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを最高レベルの「対応レベル3」として、野鳥の監視を強化中。
- 死亡野鳥、野鳥糞便、環境試料（水）及び家きんにおいて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された各地点の周辺半径10km圏内を「野鳥監視重点区域」に指定。同区域内では緊急調査等を実施し、野鳥の監視を強化。

(表2) 国内における野鳥での発生を受けた対応状況

	確認日	場所	緊急調査	野鳥監視重点 区域の設定日	検体 (回収日)
1	10月30日	北海道 紋別市	10月31日 ～11月2日	10月30日～ 11月23日	野鳥糞便 (10/24) ※2
2	11月13日	鹿児島県 出水市	11月14日 ～20日	11月13日～	環境試料(水) (11/9) ※3
3	11月17日	鹿児島県 出水市		11月17日～	野鳥糞便 (11/5) ※4
4	11月20日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料(水) (11/16) ※3
5	11月25日	新潟県 阿賀野市	11月26日 ～27日	11月25日～ 12月16日	環境試料(水) (11/16) ※5
6	11月27日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料(水) (11/23) ※3
7	11月30日	新潟県 阿賀野市	— ※1	11月25日～ 12月16日	野鳥糞便 (11/16) ※4
8	12月4日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料(水) (11/30) ※3
9	12月9日	和歌山県 和歌山市	12月11日 ～13日	12月3日～ 1月12日	死亡野鳥 (オシドリ) (12/3)
10	12月9日	岡山県 小田郡 矢掛町	12月14日 ～16日	12月4日～ 1月3日	死亡野鳥 (ハヤブサ) (12/4)
11	12月9日	宮崎県 延岡市	12月9日～ 12日	12月9日～ 1月10日	野鳥糞便※6 (11/30)
12	12月9日	宮崎県 児湯郡 都農町	— ※1	12月9日～1 月14日	野鳥糞便※6 (11/30)
13	12月11日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料(水) (12/7) ※3



14	12月11日	鹿児島県 出水市	— ※1	12月11日～	環境試料（水） （12/7）※3
15	12月12日	鳥取県 鳥取市	12月14日 ～15日	12月12日～ 1月20日	野鳥糞便※7 （12/7）
16	12月15日	鳥取県 鳥取市	— ※1	12月12日～ 1月20日	環境試料（水） （12/9）※8
17	12月16日	香川県 三豊市	— ※1	12月10日～ 1月24日	死亡野鳥 （ノスリ） （12/8）
18	12月18日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （12/14）※3
19	12月18日	鹿児島県 出水市	— ※1	12月11日～	環境試料（水） （12/14）※3
20	12月22日	鹿児島県 出水市	— ※1	12月19日～	死亡野鳥 （ナベヅル） （12/18）
21	12月23日	鹿児島県 出水市	12月26日 ～28日	12月23日～	衰弱野鳥 （オシドリ） （12/22）
22	12月25日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （12/21）※3
23	12月25日	奈良県 吉野郡 大淀町	— ※1	12月20日～ 1月19日	死亡野鳥 （オオタカ） （12/20）
24	12月29日	鳥取県 鳥取市	— ※1	12月29日～ 1月20日	野鳥糞便※7 （12/21）
25	12月30日	埼玉県 比企郡 ときがわ 町	1月4日～ 5日	12月24日～ 1月22日	死亡野鳥 （フクロウ） （12/23）
26	1月5日	鹿児島県 出水市	— ※1	12月11日～	環境試料（水） （12/21）※3
27	1月8日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （1/4）※3

28	1月15日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （1/11）※3
29	1月15日	鹿児島県 出水市	— ※1	12月11日～	環境試料（水） （1/11）※3
30	1月20日	鹿児島県 薩摩川内 市	1月21～ 23日	1月17日～	死亡野鳥 （マガモ） （1/16）
31	1月22日	宮崎県 延岡市	1月28日	1月13日～	死亡野鳥 （オナガガモ） （1/13）
32	1月22日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （1/18）※3
33	1月25日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	死亡野鳥 （ナベツル） （1/19）
34	1月28日	北海道 帯広市	1月30日～ 2月1日	1月22日～	死亡野鳥 （ハヤブサ） （1/18）
35	1月28日	宮崎県 <small>にしもろかた</small> 西諸県郡 <small>たかはる</small> 高原町	2月7日 （予定）	1月24日～	死亡野鳥 （マガモ） （1/24）
36	1月28日	宮崎県 <small>にしもろかた</small> 西諸県郡 <small>たかはる</small> 高原町	2月7日 （予定）	1月24日～	死亡野鳥 （マガモ） （1/24）
37	1月28日	鹿児島県 出水市	— ※1	11月13日～	環境試料（水） （1/25）※3
38	2月3日	北海道 旭川市	2月4日～ 5日（予定）	1月30日～	死亡野鳥 （オジロワシ） （1/30）

※1 既指定の野鳥監視重点区域と範囲が重なっており、継続して野鳥の監視を強化している

※2 北海道大学が研究目的で独自に実施した調査で採取されたもの

※3 鹿児島大学が依頼を受けて実施した検査のために採取されたもの

※4 環境省で実施した野鳥の糞便調査で採取されたもの

- ※5 環境省で実施した水検体の調査で採取されたもの
- ※6 県が独自で実施した野鳥の糞便調査で採取されたもの
- ※7 京都産業大学が研究目的で独自に実施した調査で採取されたもの
- ※8 県が独自で実施した水検体の調査で採取されたもの

(お知らせ)

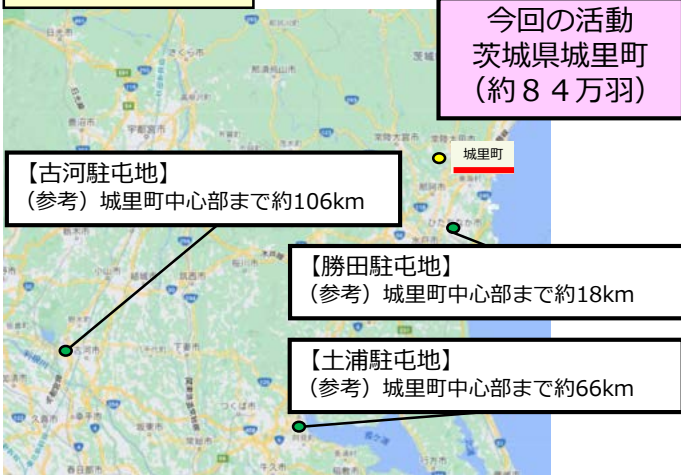
※ 数値等は全て速報値のため、今後変更される可能性があります。

茨城県城里町における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣について

令和3年2月2日  
防衛省

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2月1日(月)、茨城県城里町(しろさとまち)に所在する養鶏場(飼育数:約84万羽)において鳥インフルエンザの疑いが発生。検査の結果、2日(火)0630頃に鳥インフルエンザ陽性が確定。</li> <li>○ 2日(火)0700、茨城県知事から陸上自衛隊施設学校長(勝田駐屯地)に対し、鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣を要請。</li> <li>○ 同日1009、陸上自衛隊施設学校(勝田駐屯地)を基幹とする対処部隊が殺処分等を開始。</li> </ul>
活動部隊	○ 陸上自衛隊施設学校(勝田駐屯地)、第1施設団(古河駐屯地)、武器学校(土浦駐屯地)
活動態勢	○ 約210名態勢(合計6個対処部隊(各隊約30名)を編成し、ローテーション勤務による24時間態勢で対応) ※後方支援要員を含む
活動内容	○ 養鶏場内における鶏の殺処分等

位置関係図



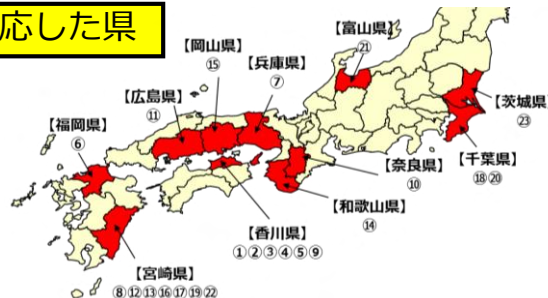
【参考】前回の活動の様子(令和3年1月31日・宮崎県新富町)



# 自衛隊の鳥インフルエンザへの対応について

活動期間	市町村	農場規模(羽数)	派遣部隊
① 令和2年11月 5日～8日	香川県三豊市	約31.7万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
② 令和2年11月 8日～9日	香川県東かがわ市	約4.6万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
③ 令和2年11月15日～16日	香川県三豊市	約7.7万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
④ 令和2年11月20日～24日	香川県三豊市	約80.5万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
⑤ 令和2年11月22日～23日	香川県三豊市	約7.5万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
⑥ 令和2年11月25日～27日	福岡県宗像市	約9.2万羽	陸上自衛隊第2高射特科団(飯塚)等
⑦ 令和2年11月26日～28日	兵庫県淡路市	約14.5万羽	陸上自衛隊第3特科隊(姫路)等
⑧ 令和2年12月 2日	宮崎県都農町	約2.9万羽	陸上自衛隊第43普通科連隊(都城)等
⑨ 令和2年12月 2日～4日	香川県三豊市	約36.7万羽	陸上自衛隊第15即応機動連隊(善通寺)等
⑩ 令和2年12月 6日～7日	奈良県五條市	約7.7万羽	陸上自衛隊第7施設群(大久保)等
⑪ 令和2年12月 7日～9日	広島県三原市	約13.7万羽	陸上自衛隊第46普通科連隊(海田市)等
⑫ 令和2年12月 8日	宮崎県都城市	約5.9万羽	陸上自衛隊第43普通科連隊(都城)等
⑬ 令和2年12月 8日	宮崎県小林市	約4.3万羽	陸上自衛隊第24普通科連隊(えびの)等
⑭ 令和2年12月10日～11日	和歌山県紀の川市	約6.8万羽	陸上自衛隊第37普通科連隊(信太山)等
⑮ 令和2年12月11日～14日	岡山県美作市	約64.4万羽	陸上自衛隊第13特科隊(日本原)等
⑯ 令和2年12月14日	宮崎県宮崎市	約12.6万羽	陸上自衛隊第43普通科連隊(都城)等
⑰ 令和2年12月14日～15日	宮崎県日向市	約4.6万羽	陸上自衛隊第43普通科連隊(都城)等
⑱ 令和2年12月24日～31日	千葉県いすみ市	約116万羽	陸上自衛隊第1空挺団(習志野)等
⑲ 令和2年12月30日	宮崎県小林市	約15.4万羽	陸上自衛隊第24普通科連隊(えびの)等
⑳ 令和3年 1月11日～19日	千葉県いすみ市	約115.0万羽	陸上自衛隊第32普通科連隊(大宮)等
㉑ 令和3年 1月23日～24日	富山県小矢部市	約14.1万羽	陸上自衛隊第14普通科連隊(金沢)
㉒ 令和3年 1月31日	宮崎県新富町	約8.0万羽	陸上自衛隊第43普通科連隊(都城)等
㉓ 令和3年 2月 2日～	茨城県城里町	約84.0万羽	陸上自衛隊施設学校(勝田)等

## 自衛隊が対応した県



※ 数値等は速報値のため、今後変更される可能性があります。